家畜衛生だより

Ｒ８-２８　令和８年１１月　発行

置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444-3
TEL 0238-43-3217
FAX 0238-43-5249

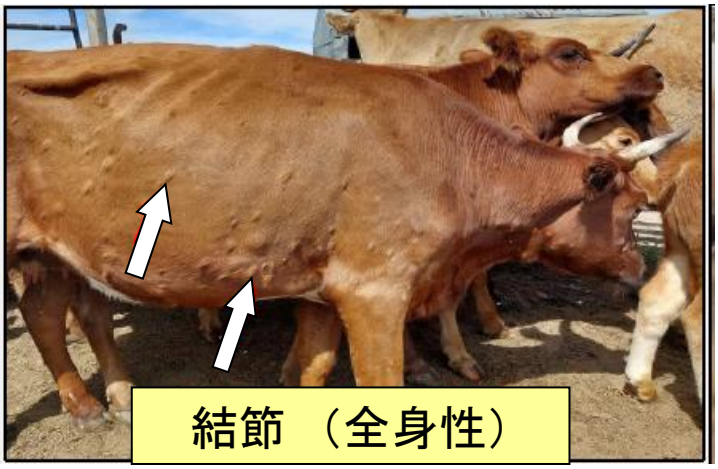
福岡県でランピースキン病発生！

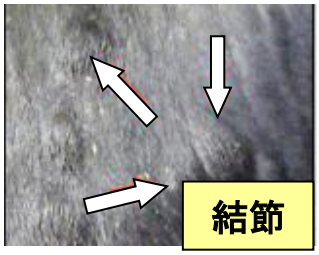
福岡県（みやま市）の牛飼養農場で、ランピースキン病が発生しました。本病は、韓国で発生が拡大（212 件：R8.10.27 現在）しており、本病ウイルスが野外で長期間生存可能であること等から、引き続き警戒が必要です。

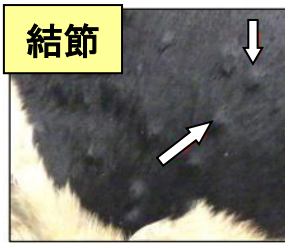
1. 発生農場　所 在 地：みやま市
　　飼養頭数：93 頭

2. 経　　過
（1）10月31日、診療獣医師から通報。
　　同日、現地家保が立入調査。
（2）11月1日、疑似患畜と確定。

3. 対　　応
（1）疑似患畜1頭を殺処分
（2）感染牛の隔離、当該農場の移動制限および衛生害虫対策、部外者の立入制限等
（3）当該農場及び半径5km 以内の牛飼養農場（516 頭）ワクチン接種予定







- 本病はウイルス性の感染症で、蚊、ハエ、ダニなどにより媒介されるほか、ウイルスに汚染された飼料・水・器具、感染牛の移動、さらに、人・車両を通じて感染が拡大する可能性もあります。
- 発熱、全身性の皮膚の結節、乳量減少、元気消失などの症状がみられます。（死亡率：１～５%）
- 入場車両の消毒、農場に入る際の手指消毒や衣服・靴の交換、注射針や人工授精器具等の１頭毎の交換または消毒など、飼養衛生管理基準を守ることで、本病の発生リスクを低減できます。

飼養牛に異状があった場合は、速やかに家畜保健衛生所に通報願います！
0238－43－3217　夜間・休日も対応